

平成26年度関東東海北陸農業試験研究推進会議
北陸農業部会冬作物研究会立毛検討会
開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議
北陸農業部会長 渡邊好昭
(中央農業総合研究センター 北陸農業研究監)
副部会長 矢頭 治
(中央農業総合研究センター 作物開発研究領域長)

1. 趣 旨：

近年、北陸産大麦については、湿害の発生や冬期間の気象条件等の制約が大きく、単収の伸び悩みや硝子質粒の発生など品質の低下が問題となっている。このため、北陸向けの新たな品種の開発・導入に向けた検討や新需要開拓に向けた取組みが始まっている。本研究会では新品種開発状況等について検討を行う。

なお、本研究会は北陸農政局主催の北陸ブロック麦現地検討会／麦類品質協議会との共同開催とする。

2. 開催日時：

平成26年6月2日(月) 13:30～17:00 検討会等
3日(火) 9:00～14:00 現地検討・品質協議会

3. 開催場所：

場内検討：中央農業総合研究センター北陸研究センター
現地検討：北陸皮50号試作現地ほ場(上越市西松ノ木)
ミノリムギ・ファイバースノウ産地ほ場(長岡市福土ほか)

4. 議 事：

【1日目】

- 検討会 「北陸麦の生産／用途拡大を考える」
- (1) 北陸産麦生産状況について
 - (2) 北陸向け新品種開発の状況について
 - (3) 特徴ある大麦・小麦新品種を活用する新需要開拓の実例について
 - (4) 北陸地域での新たな大麦食品の開発事例と問題点について
 - (5) 実需者が求める北陸大麦・新潟大麦の姿について
 - (6) 北陸向け大麦栽培技術に関する最近の話題について
 - (7) 総合討論

試験ほ場巡回調査 北陸研究センター内

大麦有望系統育種圃場、FOEAS・栽培試験圃場、大麦・小麦育成系統展示栽培圃場

【2日目】

現地検討 (上越市西松ノ木、長岡市福土)
麦類品質協議会(北陸農政局長岡地域センター)

5. 参集範囲

北陸地域各県・市町村行政部局及び試験研究機関、農林水産省、大学、生産者団体担当者、実需者、生産者、農研機構等

6. 連絡先：

中央農業総合研究センター北陸研究センター
作物開発研究領域 大麦育種担当 長嶺敬
TEL: 025-526-3246 E-mail: naga@affrc.go.jp